



## 第195期 中間業績のご報告

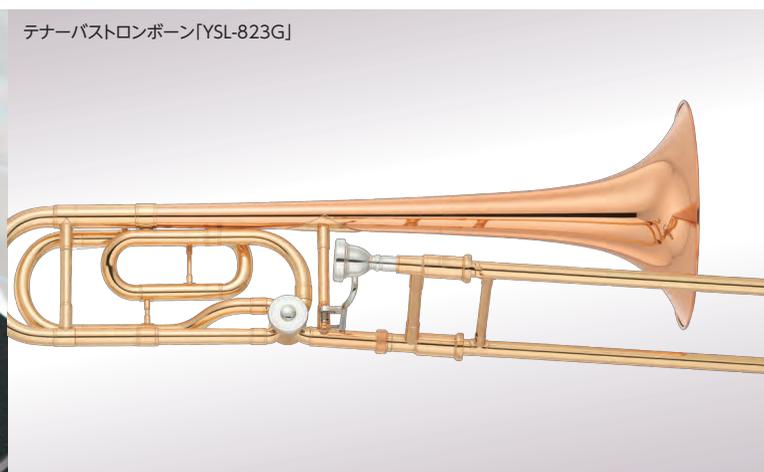
(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

証券コード：7951

ネットワークターンテーブル「TT-N503」



テナーバストロンボーン「YSL-823G」



ユニファイドコミュニケーションスピーカフォン「YVC-200」



ヤマハ株式会社

### 株主の皆さまへ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第195期中間期(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)の連結業績の概況についてご報告申し上げます。

当中間期の連結売上高は、楽器事業を中心に販売が好調に推移したことから、前年同期に対し48億円増加の2,146億16百万円(前年同期比2.3%増加)となりました。

損益については、営業利益は285億5百万円(同19.1%増加)、経常利益は297億67百万円(同20.4%増加)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比11.4%増加の218億82百万円となりました。

中間配当につきましては、11月1日開催の取締役会において、一株につき30円とすることを決定いたしました。

当期が最終年度となる中期経営計画「NEXT STAGE 12」では、「『なくてはならない、個性輝く企業』になる」を当社が中長期的に目指す姿として掲げ、「ブランド力の強化と、その成果としての利益率の向上」のため、①楽器事業のさらなる収益力向上 ②音響機器事業の成長 ③第3の柱となる部品・装置事業の基盤確立に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成30年12月  
代表執行役社長

中田卓也

## 中期経営計画「NEXT STAGE 12」4つの重点戦略の進捗

### 個性際立つ商品の開発

- 新音源、新スピーカーを搭載し、弾き心地にこだわったコンパクトタイプの電子ピアノ「Pシリーズ」や、遠隔コミュニケーションを快適にするスピーカーフォン「YVC-200」などを発売しました。
- 研究開発のための拠点「イノベーションセンター」が6月に稼働を開始し、約2,500人の技術者が本社地区に集結、開発シナジー創出に向けた体制を強化しました。

### 持続的なコスト低減

- 電子部品を中心とした原材料の価格上昇により調達コスト低減に遅れがみられるものの、生産工程の再配置や、間接業務の生産性向上に取り組んでおります。
- インドの新工場を含め、生産拠点の整備はほぼ計画通りに進捗しております。

### お客様の拡大

- カジュアル管楽器「Venova™」の多彩なプロモーションや、中国、インドネシアにおいてもデジタルマーケティングに取り組む等、市場や製品特性に応じた発信により、お客様との関係強化を進めております。
- ヤマハ発動機株式会社との合同ブランド活動や、若い世代に向けた大規模イベントでAI等の先進技術をPRする等、ヤマハファンを拡大する活動を進めております。

### グローバル事業運営の基盤強化

- グループ人材の国を超えた活躍を推進するため、グループ人材マネジメントの仕組みと教育体系の整備に取り組んでおります。
- ITセキュリティ強化、効率的な物流システム等、スタッフの機能をグローバルに最適化し、グローバル事業運営を支える基盤の強化、業務の効率化を計画に沿って進めております。

## 第195期(平成31年3月期)通期業績の見通しについて

第195期通期連結業績の見通しは、売上高4,420億円(前期比2.1%増加)、営業利益550億円(同12.6%増加)、経常利益550億円(同11.7%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益400億円(同26.4%減少)としています。営業利益550億円及び経常利益550億円は、過去最高益となります。また、業績予想における当下期の想定為替レートは、対USドル105円、対ユーロ125円としています。

### 連結業績予想

売上高 <b>4,420億円</b>	営業利益 <b>550億円</b>
経常利益 <b>550億円</b>	親会社株主に帰属する 当期純利益 <b>400億円</b>

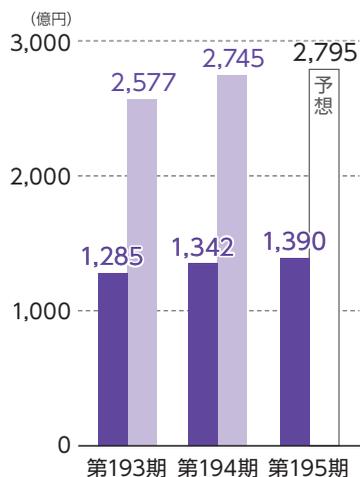
## 各事業の状況(連結) BUSINESS SITUATION

### 楽器事業

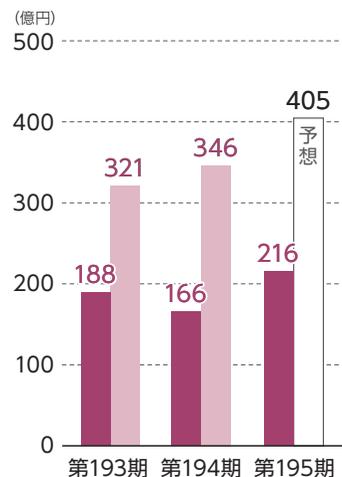
アコースティックピアノの販売が欧州を除く全ての地域で好調に推移しました。デジタルピアノは中国と北米で売上げを伸ばしました。ギターは北米、中国及びその他の新興国での販売が伸長しました。



【売上高】 ■ 中間期 ■ 通期



【営業利益】 ■ 中間期 ■ 通期

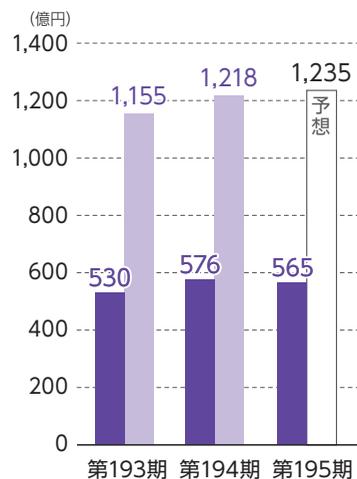


### 音響機器事業

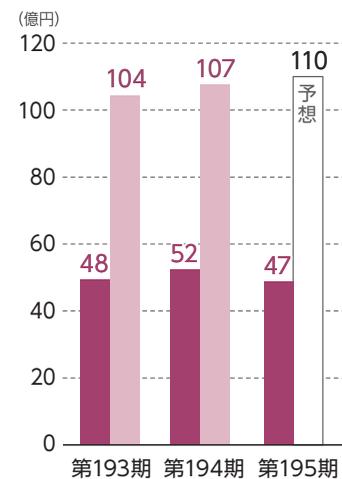
オーディオ機器は北米等で販売が振るいませんでしたが、PA機器は全ての地域で販売が伸長しました。



【売上高】 ■ 中間期 ■ 通期



【営業利益】 ■ 中間期 ■ 通期

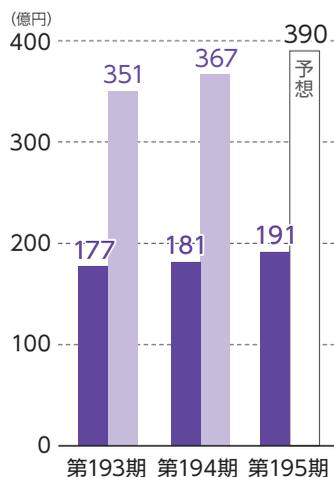


## 部品・装置、その他の事業

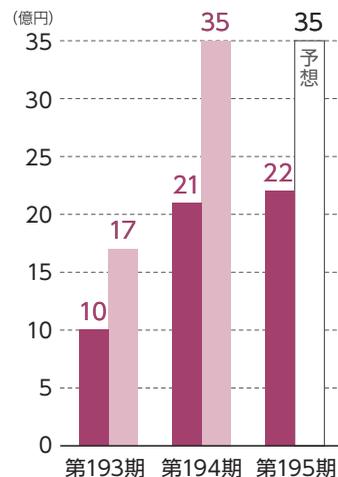
FA機器と自動車用内装部品の販売が好調に推移し、売上げを伸ばしました。



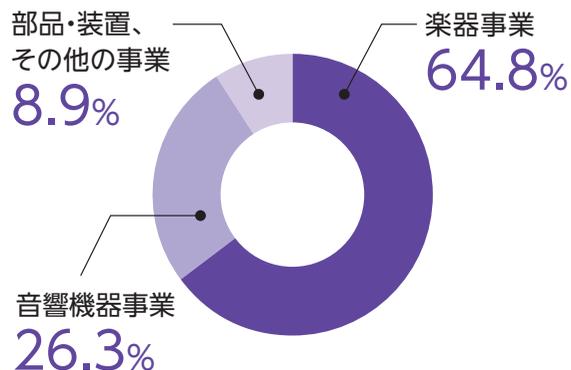
[売上高] ■ 中間期 ■ 通期



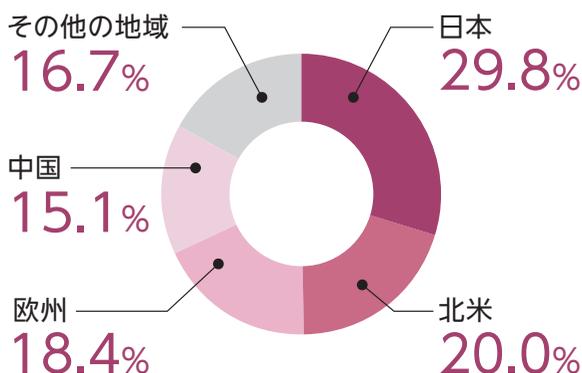
[営業利益] ■ 中間期 ■ 通期



## 事業別売上高構成比率



## 地域別売上高構成比率



上の2つのグラフは、当第2四半期連結累計期間の売上高に基づく構成比率です。

## 【四半期連結貸借対照表(要旨)】

当第2四半期連結会計期間(平成30年9月30日現在) (単位:百万円)

	当第2四半期末	前期末*	
資産の部	流動資産	298,354	289,493
	固定資産	267,324	262,816
	有形固定資産	118,155	115,817
	無形固定資産	7,541	6,167
	投資その他の資産	141,627	140,831
<b>資産合計</b>	<b>565,679</b>	<b>552,309</b>	
負債の部	流動負債	97,763	101,919
	固定負債	59,746	62,043
	負債合計	157,509	163,963
純資産の部	株主資本	331,202	315,048
	その他の包括利益累計額	75,930	71,470
	非支配株主持分	1,036	1,826
	純資産合計	408,169	388,345
<b>負債純資産合計</b>	<b>565,679</b>	<b>552,309</b>	

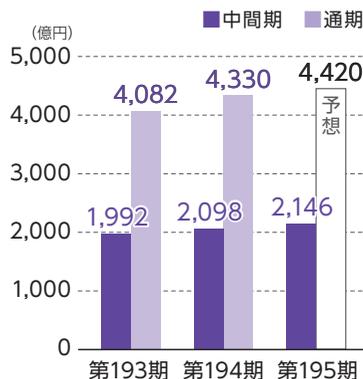
※『「税効果会計に係る会計基準」の一部改正』等を適用し表示方法の変更を行っております。これにより前期末の資産合計及び負債純資産合計は7,875百万円減少しております。

## 【四半期連結損益計算書(要旨)】

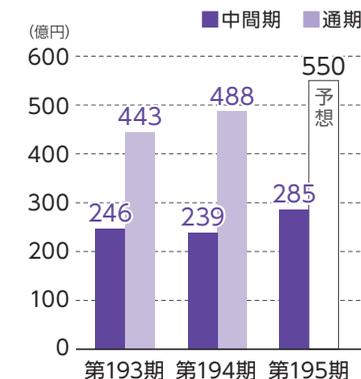
当第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日から9月30日まで) (単位:百万円)

	当第2四半期累計	前第2四半期累計
売上高	214,616	209,800
売上総利益	89,945	84,088
営業利益	28,505	23,927
経常利益	29,767	24,727
税金等調整前四半期純利益	29,892	24,269
<b>親会社株主に 帰属する 四半期純利益</b>	<b>21,882</b>	<b>19,637</b>

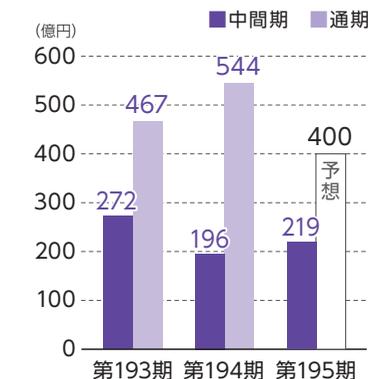
### [売上高]



### [営業利益]



### [親会社株主に帰属する当期純利益]



## 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)】

当第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日から9月30日まで)

(単位:百万円)

	当第2四半期累計	前第2四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,476	9,584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,409	△11,657
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,519	10,416
現金及び現金同等物に係る換算差額	771	1,490
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,640	9,833
現金及び現金同等物の期首残高	117,403	100,669
現金及び現金同等物の四半期末残高	110,762	110,503

### 【売上高営業利益率(ROS)】



### 【自己資本利益率(ROE)】



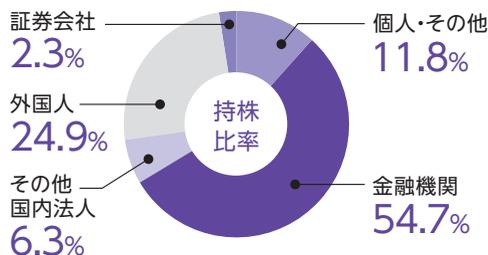
### 【1株当たり利益(EPS)/年間配当】



## 株式の状況 (平成30年9月30日現在)

発行可能株式総数	700,000,000株
発行済株式の総数	191,555,025株 (自己株式9,708,216株を含む。)
株主数	16,943名

### 所有者別状況



(注)「個人・その他」には自己株式が含まれております。

### 大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (対自己株式控除)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	28,019	15.41%
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	14,737	8.10%
ヤマハ発動機株式会社	10,326	5.68%
三井住友海上火災保険株式会社	7,713	4.24%
株式会社静岡銀行	7,604	4.18%
住友生命保険相互会社	7,300	4.01%
株式会社みずほ銀行	6,597	3.63%
日本生命保険相互会社	5,002	2.75%
資産管理サービス信託銀行 株式会社(証券投資信託口)	3,006	1.65%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001	2,876	1.58%

(注)当社は、自己株式9,708,216株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は所有株式数を自己株式を除いた発行済株式の総数で除しております。

## 役員 (平成30年9月30日現在)

### 取締役

取締役	中田 卓也
取締役	山 畑 聡
取締役	細 井 正 人
社外取締役	野 坂 茂
社外取締役	伊 藤 雅 俊
社外取締役	箱 田 順 哉
社外取締役	中 島 好 美
社外取締役	福 井 琢
社外取締役	日 高 祥 博

### 執行役

代表執行役社長	中田 卓也
常務執行役	川 瀬 忍
常務執行役	山 畑 聡
執行役	藤 井 茂 樹
執行役	飯 塚 朗
執行役	山 口 静 一
執行役	大 六 野 隆

## 株主メモ

事業年度	4月1日から 翌年3月31日まで	定時株主総会 期末配当の基準日	6月 3月31日
定時株主総会の 基準日	3月31日	中間配当の基準日 単元株式数	9月30日 100株

公告の方法 電子公告 [https://www.yamaha.com/ja/]

株主名簿管理人・  
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

株式事務の  
お問い合わせ先 株式事務の内容により、証券会社または三井住友  
信託銀行株式会社にお問い合わせください。

株式事務の 内容	・住所変更 ・配当金受取方法の変更 ・単元未満株式の買取請求	・未払い配当金の 支払い
口座を開設 されている場合	口座を開設された 証券会社	三井住友信託銀行 株式会社
株式が特別口座に ある場合	三井住友信託銀行 株式会社	三井住友信託銀行 株式会社

三井住友信託銀行株式会社のお問い合わせ先

 0120-782-031 平日9:00-17:00



この「中間業績のご報告」は環境にやさしい  
植物油インキとFSC®森林認証紙を使用しています。

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

## ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10番1号  
Tel: 053(460)2800 Fax: 053(460)2802  
URL: https://www.yamaha.com/ja/